

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する公開情報

研究機関名：筑波メディカルセンター病院

倫理審査承認日： 2025 年 4 月 22 日

研究課題名：活動性悪性腫瘍合併脳梗塞に対する血管内再開通療法の多施設共同後ろ向き観察研究

研究期間：研究実施許可日～2030 年 12 月 31 日

研究対象： 2018 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に、活動性悪性腫瘍を合併した脳主幹動脈閉塞による急性期脳梗塞を発症して入院加療を受けた方で、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない方を対象とします。

選択基準

- 年齢 18 歳以上の成人
- 2018 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日に、研究参加施設で入院加療を受けた患者
- 発症または最終健常確認時刻から 24 時間以内の急性期脳梗塞患者で、活動性悪性腫瘍を合併していた患者（院内発症患者、脳梗塞発症後に活動性悪性腫瘍が診断された患者を含む）
- 脳主幹動脈（総頸動脈、内頸動脈、中大脳動脈 M1 部、M2 部、椎骨動脈、脳底動脈）の急性閉塞により脳梗塞を発症した患者
- 発症時 National Institutes of Health Stroke Scale (NIHSS) スコア 6 以上の患者
- 単純 CT あるいは MRI 拡散強調画像による評価で、前方循環主幹動脈閉塞例では Alberta Stroke Program Early CT Score (ASPECTS) 3 以上、後方循環主幹動脈閉塞例では posterior circulation Acute Stroke Prognosis Early CT Score (pc-ASPECTS) 6 以上の患者

除外基準

- 患者本人もしくは代諾者より不参加の意思が表示された場合
- 研究担当医師により研究への登録が不適格とみなされた患者

対象材料

- 病理材料（対象臓器名 血栓、悪性腫瘍組織 ）
- 生検材料（対象臓器名 ）
- 血液材料 □ 遊離細胞 □ その他（ ）

上記材料の対象期間 西暦 2018 年 1 月 ～ 2024 年 12 月

意義・目的：

活動性悪性腫瘍を合併した急性期脳梗塞に対する血管内再開通療法の、①有効性を評価するための適切な転帰指標を確立し、②内科治療と比較した有効性・安全性を明らかにすることを目的とした研究です。

方法：国内の多施設共同の後ろ向き観察研究（すでに得られている診療情報を収集し解析する研究）です。年齢、性別、既往歴・併存疾患、画像検査、治療経過、臨床転帰等のカルテ情報を使用します。診療情報に関しては学会・論文などに公表するデータは集計データであり、個人が特定されることはありません。また、本研究で得られた情報は、個人名・診察番号は記入せず個人が特定されないよう配慮します。なおこの研究への情報提供を希望されない場合には、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その患者様の情報は利用いたしません。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

問い合わせ等の連絡先

筑波メディカルセンター病院 脳神経外科
原 拓真（代表番号 029-851-3511）